

美しい時代へ

東急グループ

Business Report

第146期 中間 ビジネス レポート

2014年4月1日から2014年9月30日まで

Contents

トップメッセージ.....	1
事業フォーカス 東急の「駅」は進化しています！ ～より安全で、快適な駅施設をめざして～....	3
SHIBUYA Evolution! 渋谷駅周辺開発プロジェクトの進捗 ～未来と、世界とつながる街へ～.....	5
トピックス 毎日がMotto楽しめる、 東急グループの多彩なサービス。.....	7
PICK UP! スポーツで沿線を豊かに.....	8
事業別の概況.....	9
四半期連結財務諸表.....	11
会社・株式情報.....	12
株主さまインフォメーション.....	13



東京急行電鉄株式会社

(証券コード:9005)



ごあいさつ

株主の皆さまには、平素から格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社が持続的な成長を目指すべく2012年度より推進してまいりました中期3か年経営計画「^{つく}～^{つな}創る、^{ひら}繋ぐ、^{ひろ}拓く～」は最終年度である2014年度を迎えております。本計画における目標を着実に達成するため、当社および東急グループは、お客さまの視点に立った事業連携を強化し、「ひとつの東急」として相乗効果を発揮することにより、連結収益の最大化を目指しております。

当上半期は、渋谷駅周辺開発の核となる「渋谷駅街区開発計画」の東棟の工事に着手し、東急グループの持続的成長の礎となるプロジェクトの第一歩を踏み出しました。当プロジェクトが世界中から常に注目を集める「エンタテインメントシティしゅばや」の中心となることを目指し、ハードおよびソフトの両面から事業を推進してまいります。

また当社は、「安全」をすべての事業の根幹と位置づけ、お客さまが「東急」に寄せる信頼の源泉であると考えております。公共交通を担う企業として、引き続き業務に関わる全ての社員が確固たる「安全・安心」に向けたマネジメント体制の強化に取り組んでまいります。

各事業における当上半期の取り組みおよび株主の皆さまへの利益還元の方針については、次ページ以降でご案内いたしておりますので、ご高覧いただければ幸いです。

株主の皆さまにおかれましては、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2014年12月

取締役社長 野本 弘文

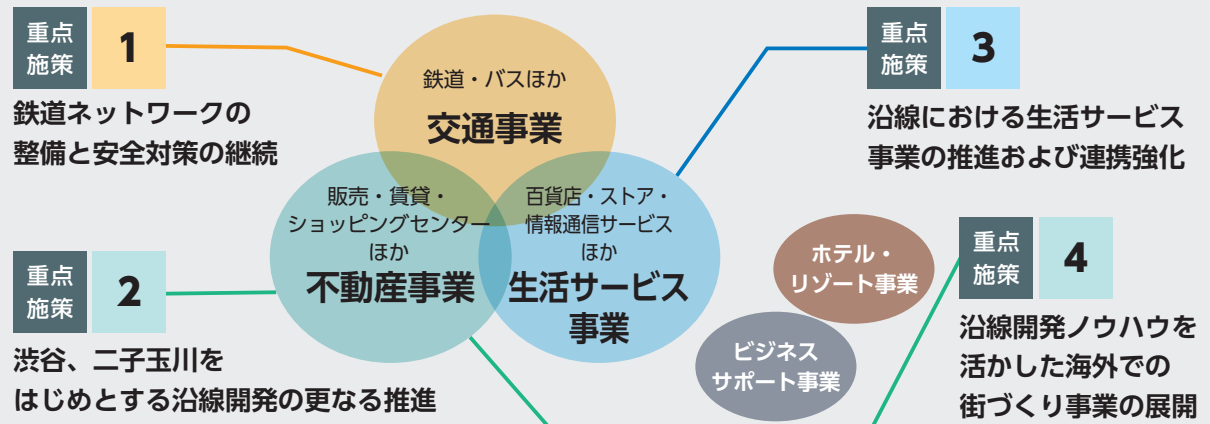
中期3か年経営計画

～^{つく}創る、^{つな}繋ぐ、^{ひら}拓く～(2012年度～2014年度)

の概要

全体戦略

地域の生活価値を 創造し続ける事業展開



事業別の取り組みについて

交通事業では、ホームの安全対策として代官山駅、武蔵小杉駅および横浜駅へのホームドア設置工事に着手し、またあざみ野駅、綱島駅などの駅施設・高架橋の耐震補強工事に取り組みました。その他、菊名駅のエレベーター増設や、武蔵小杉駅・二子玉川駅のトイレ改修などにより、お客さまの快適性向上を図りました。

詳細は **3~4** ページをご覧ください
東急の「駅」は進化しています！

不動産事業では、渋谷・二子玉川をはじめとする大規模開発プロジェクトを推進し、安定的かつ継続的な収益の確保とさらなる沿線価値の向上を目指すとともに、東横線の線路跡地の開発計画など、渋谷駅周辺における価値向上の取り組みを進めました。

詳細は **5~6** ページをご覧ください
SHIBUYA Evolution!

生活サービス事業では、安心感・利便性・快適性を高める商品・サービスを提供し、沿線にお住まいのお客さまの生活価値向上に寄与することを目指しております。今年10月より、東急線沿線のさまざまな生活シーンで幅広くご利用いただける「TOKYUポイントサービス」を、沿線の商店街にも展開する取り組みを開始いたしました。

詳細は **7** ページをご覧ください
トピックス

株主還元の方針について

当社は、株主の皆さまへの適切な利益還元を経営上の重要政策と位置づけ、本経営計画では、連結自己資本配当率2%を目処におき、安定・継続的な配当を実施することとしております。この方針に基づき、当期の中間配当につきましては、1株につき4円といたしました。なお、期末配当を含めた当期の年間配当につきましては、前期比で50銭増配し、1株につき8円を予定しております。

自己株式の取得結果について

第145期ビジネスレポートでお伝えした、資本効率の向上と1株当たり株主価値の向上を目的とした自己株式の取得について、このたび取得期間が満了しましたのでご報告申し上げます。

取得した株式の種類	当社普通株式
取得期間	平成26年5月16日から平成26年8月29日まで
取得した株式の総数	1,378万6,000株
株式の取得価額の総額	99億9,947万5,984円

また、取得した株式1,378万6,000株はすべて、平成26年9月30日をもって消却いたしました。(消却前の発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合1.09%)

東急の「駅」は進化しています！

～より安全で、快適な駅施設をめざして～

お客さまに東急線の「駅」を、いつでも安全・安心・便利にご利用いただくための、さまざまな取り組みについてご紹介します。



1 ホームドアの設置を推進

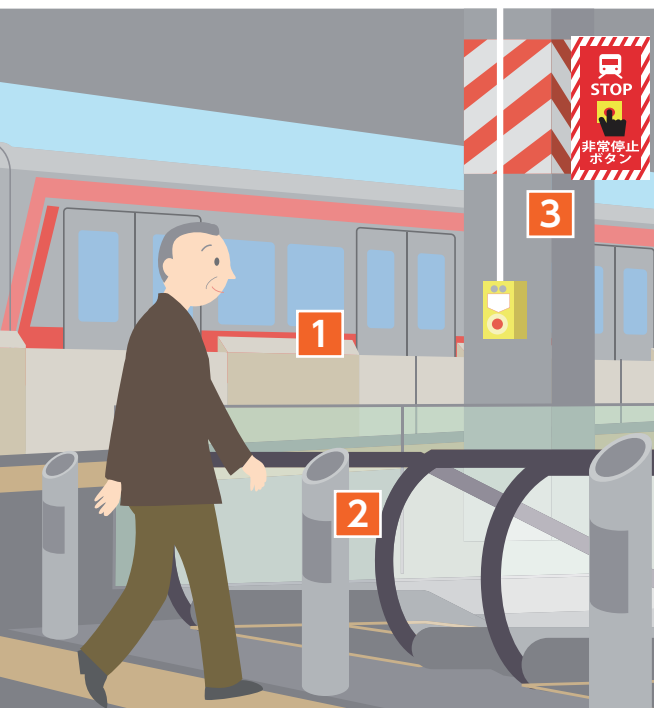
ホームからの転落事故防止策として、ホームドアの設置を進めており、目黒線全駅と東横線渋谷駅、中目黒駅、学芸大学駅、大井町線大井町駅では工事が完了しています。2014年度は東横線代官山駅、武蔵小杉駅および横浜駅へのホームドア設置工事に着手いたしました。またホームドアや安全柵が整備されるまでの安全対策として、ホーム安全要員（鉄道警備隊）を配置しています。



2 東急線全駅で バリアフリールートを整備

本年2月に下神明駅のエレベーターが供用開始されたことに伴い、東急線全駅でバリアフリールートが整備されました。今後も、より一層お客さまが快適にご利用になれるよう、施設改修を進めてまいります。





電車も変わっています

2002年度以降、「人と環境にやさしい車両」をコンセプトとした5000系、6000系、7000系車両の導入を進めています。従来の主力車両であった8000系に比べ使用電力を約40%も削減できることから、2014年9月末時点で東急線全営業車両の約52.4%が新型車両になりました。



3 非常停止ボタンの設置、案内看板の見直し

非常停止ボタンをホームに設置するとともに、案内看板の見直しを行うことで視認性を向上させ、ボタンの設置位置をさらに分かりやすくしています。



4 お知らせモニターを各駅に順次設置

東急線各駅の改札付近などに、大型ディスプレイ「お知らせモニター」の設置を進めております。「お知らせモニター」は、列車の運行障害や災害が発生した際に、原因や運転再開見込などを迅速に分かりやすくご案内するもので、2014年度中に全ての駅(こどもの国線・世田谷線の一部駅を除く)への設置を予定しています。



5 駅構内の照明をLEDに

長寿命・低負荷が特長のLED照明。2014年度は武蔵小杉駅、鷺沼駅、大倉山駅などで導入を進めており、今後は構内照明の全駅LED化を目指します。



SHIBUYA Evolution!

東急グループの本拠地である渋谷。渋谷は今、次のステージに向けて、日々その姿を大きく変えようとしています。“世界の高感度な人や企業が注目する街・渋谷”となることを目指して、渋谷駅を中心としたさまざまな場所で、着々と計画が進行中です。



01 渋谷駅街区開発計画 I 期(東棟)の 工事に着手



東棟を中心とした完成イメージ



起工式の様子

本年7月31日に、当社、JR東日本、東京メトロの3社は、渋谷駅街区開発計画 I 期<東棟>の起工式を行い、開発工事に本格着手いたしました。

当計画建物は日本を代表するターミナルである渋谷駅の直上に位置し、東棟・中央棟・西棟の3棟で構成される延床面積約27万㎡の大規模開発です。I 期として今回着工する東棟は、東横線・副都心線、JR線、銀座線に直結し、乗換利便性の向上とともに、駅から街への人の流れの玄関口の機能を担います。

また、高さは渋谷エリア最高となる約230メートル、地上46階建、高層部にはアジアのヘッドクォーター機能を担うにふさわしいハイグレードオフィス、中低層部には世界から集客し街の賑わいにつなげる大規模商業施設を設け、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催時には名実ともに街のシンボルタワーとなり、渋谷の発展を加速させます。

02 渋谷駅南街区に水辺の にぎわいと潤いの空間を

当社は、旧東横線の渋谷駅のホームおよび線路跡地を利用して行う渋谷駅南街区プロジェクトを進めています。プロジェクトの特徴として、現在、水量も緑も少なく、街のにぎわいから隔離された存在となっている渋谷川に、清流復活水を活用して水流を取り戻し、川沿いに約600mにおよぶ緑の遊歩道とにぎわいの広場を整備することにより、都市における水辺のにぎわいと潤いの空間を取り戻します。



渋谷川の水辺

「渋谷川」に関する 主な取り組み

- 高度処理したきれいな水で流れを確保
- 水音が聞こえるよう斜面からも放水
- 約600mにわたる遊歩道を整備



渋谷駅南街区

03 代官山東横線上部 開発計画

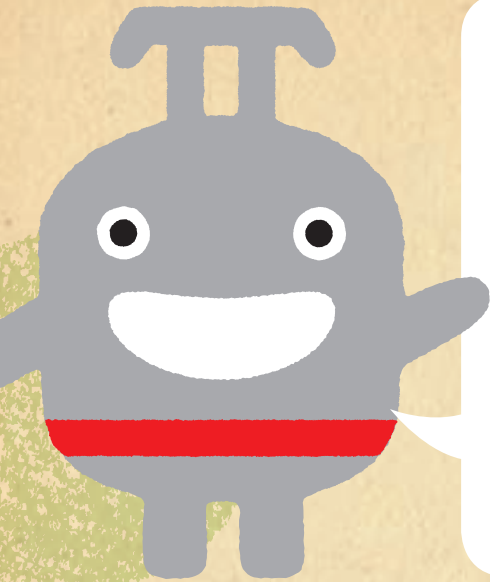


代官山駅側入りロイメーヅ

当社は、本年7月14日に「(仮称)代官山東横線上部開発計画」の工事に着手しました。同計画は全長220mに渡る東横線の線路跡地に、5棟の商業店舗を建設するもので、「集い」「憩い」「刺激」をコンセプトに、都心にありながら緑にあふれ、居心地の良さが感じられる新しい形の商業空間を創出します。代官山のシンボルとなることを目指し、2015年春に開業予定です。



鳥瞰イメージ



毎日が

Motto

楽しめる、
東急グループの
多彩なサービス。

自由が丘商店街でも

「TOKYUポイントサービス」が 貯まる、つかえる！

当社と自由が丘商店街振興組合は、自由が丘商店街の加盟店舗において、今年9月から順次「TOKYUポイントサービス」を開始します。「TOP&」または「TOP」のロゴが付いているクレジットカードを利用すると、TOKYUポイントが貯まり、貯まったポイントを1ポイント=1円としてご利用になれます。今回の自由が丘商店街との提携をきっかけに、東急線沿線のさまざまな生活シーンで幅広くご利用いただけるように、「TOKYUポイントサービス」を発展させていきます。



楽しみ方いろいろ！

「横濱中華街 旅グルメきっぷ」 東急線・みなとみらい線をまるごと満喫！

東急線全線と横浜高速鉄道みなとみらい線全線が1日乗り降り自由の乗車券と、横浜中華街の対象店舗での特別お食事券がセットになった「横濱中華街 旅グルメきっぷ」を、東急線の各駅(一部の駅を除く)で発売しています。いろいろな楽しみ方ができる便利でお得なきっぷをぜひご利用ください。



金沢エクセルホテル東急を全面改装

「金沢東急ホテル」リニューアルオープン！

東急ホテルズでは、傘下ホテルの一つである金沢香林坊に立地する「金沢エクセルホテル東急」を全面改装し、「金沢東急ホテル」に名称変更いたしました。来年3月に北陸新幹線が開業するのを機に、首都圏や海外から訪れる多くのお客さまを、金沢ならではの武家文化の風雅さを感じさせる「和」のテイストを取り入れたホテルでお迎えし、これまで以上に上質なサービスを提供してまいります。



アクセス

2015年3月開業の北陸新幹線で
ますます便利に！

- ▶ 金沢駅から 車で約6分、路線バスで約10分
- ▶ 小松空港から「金沢市内経由リムジンバス」で約45分
- ▶ 金沢東インター、金沢西インターから車で約20分

スポーツで 沿線を豊かに

2020年の東京オリンピック開催決定を契機に、日本国内でのスポーツを楽しもうとする気運は今後いっそう高まっていくことが予想されます。あらゆる世代の方々へスポーツを楽しむ機会をご用意し、心身共に健康で幸せな生活を提供すべく、東急電鉄は沿線を中心にさまざまな取り組みを進めています。



子どもたちと

子どもたちの人間的な成長につなげる 心を育むプロジェクト

当社子会社である東急スポーツシステムが運営するキッズスクール(スイミング・フットボール・テニス・ゴルフ・ダンス・バレエ・空手)では、スポーツを通じた“人としての成長”を大切に考え、「子供たちの心と身体を育み、将来自分の手で幸せをつかむことができるように支援する」というコンセプトのもと、保護者の皆さまと一緒に『心を育むプロジェクト』(通称“ここはぐ”)にも取り組んでいます。スクール活動に加え、イベントや野外活動を通じて、仲間との協働・団結を学ばせ、公平さ・努力・チャレンジ精神といった価値観を育てています。



東急スポーツシステム(株)
運営推進部
ゼネラルマネジャー
土本 和孝



地域で

たまたがわ リバーサイド クラブ



「たまたがわりバーサイドクラブ」は、東急スポーツシステムが運営する多摩川を中心に活動するアウトドアサークルです。ノルディックウォーキングやランニングを中心にさまざまなアウトドアスポーツのイベントを定期的で開催しており、近くは等々力深谷から、遠くは鎌倉・江の島や箱根など、さまざまな場所に出かけ汗を流しています。



東急スポーツシステム(株)
運営推進部 サブマネジャー
船倉 雅行

シニアの方にも

初心者からご経験のある方まで 多数のスポーツ講座 をご用意

カルチャースクール東急セミナーBEは、美術、音楽、英会話などはもちろんスポーツに関する講座も多数取り揃えています。日々のストレス解消・疲労回復・健康維持に適した、体操やヨガ、武術、音楽と一体になって踊る楽しさを実感できる各種ダンス(バレエ、フラダンス、社交ダンス)など充実のラインナップで、初心者の方にも気軽に楽しめるレッスンを提供しています。



(株)東急BE
東急セミナーBE
企画担当
田中 優子

事業別の概況

(2014年4月1日～2014年9月30日)

BR
05

→ 四半期連結財務諸表

※金額は単位未満切捨

主な関連会社 ● 東急不動産ホールディングス(株) ● 東急不動産(株) ● (株)東急コミュニティー ● 東急リバブル(株)

全事業 (2014年9月30日現在)

東京急行電鉄(株) 連結子会社125社
持分法適用会社17社

当第2四半期(累計)の業績

営業収益 **5,155**億円 (前年同期比0.2%減)
営業利益 **381**億円 (前年同期比4.4%増)

- 当社不動産事業において、前年度の大型集合住宅(マンション)販売の反動減などにより、営業収益は前年同期比で減少。
- ホテル・リゾート事業が好調に推移したことなどにより、営業利益は増加。



交通事業

鉄軌道業 東京急行電鉄(株)
伊豆急行(株)
上田電鉄(株)
バス業 東急バス(株)
(株)じょうてつ

当第2四半期(累計)の業績

営業収益 **953**億円 (前年同期比0.0%増)
営業利益 **172**億円 (前年同期比0.9%減)

- 当社鉄軌道業において、消費税増税に伴う先買いの反動減などがあったものの、沿線人口の増加や雇用状況の改善等により、輸送人員が増加した結果、営業収益は前年同期比で増加、営業利益は減少。



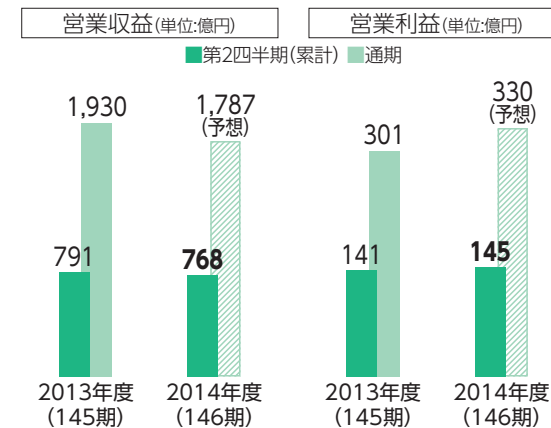
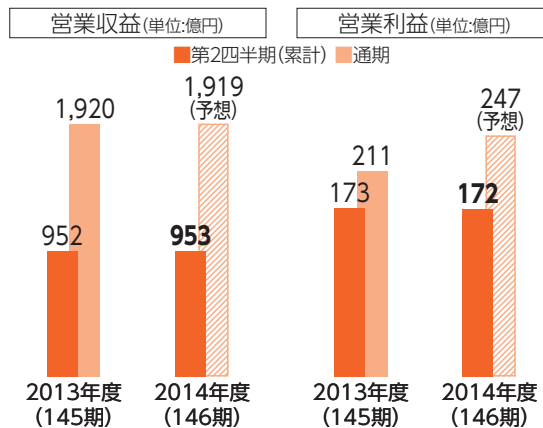
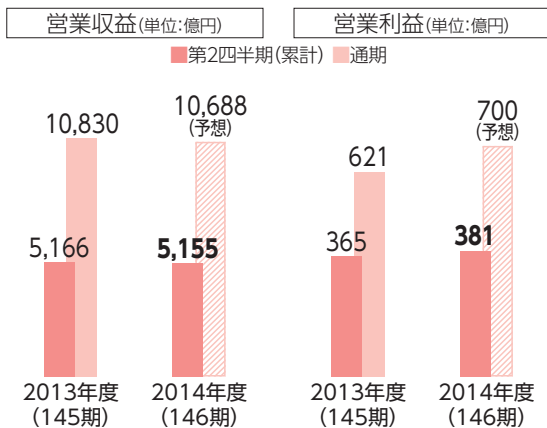
不動産事業

不動産賃貸業 東京急行電鉄(株)
不動産販売業 東京急行電鉄(株)
不動産管理業 東急ファシリティサービス(株)
ショッピングセンター業 (株)東急モルズデベロップメント

当第2四半期(累計)の業績

営業収益 **768**億円 (前年同期比3.0%減)
営業利益 **145**億円 (前年同期比3.2%増)

- 当社不動産販売業において、前年度の大型集合住宅(マンション)販売の反動減などにより、営業収益は前年同期比で減少。
- 当社不動産賃貸業において、費用が減少したことなどにより、営業利益は増加。





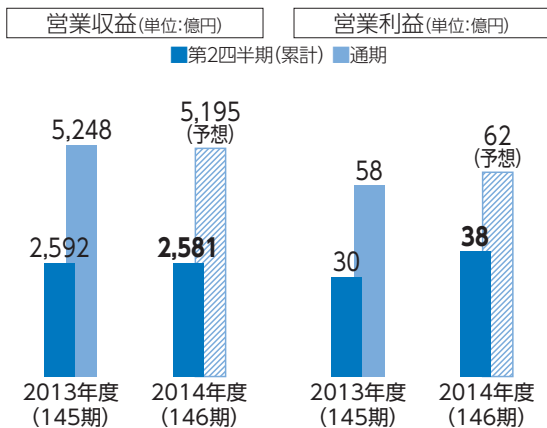
生活 サービス事業

百貨店業	(株)東急百貨店 (株)ながの東急百貨店
チェーンストア業	(株)東急ストア
ケーブルテレビ事業	イツ・コミュニケーションズ(株)
クレジットカード業	東急カード(株)
警備業	東急セキュリティ(株)
学童保育事業	(株)キッズベースキャンプ

当第2四半期(累計)の業績

営業収益 **2,581**億円 (前年同期比0.4%減)
営業利益 **38**億円 (前年同期比24.5%増)

- (株)東急百貨店において、前年度に東横店を一部閉館し、売場を縮小したことや、消費税増税、天候不順の影響などもあり、営業収益は前年同期比で減少。
- (株)東急ストアにおいて、粗利益率の改善や閉鎖店舗による費用の減少などにより、営業利益は増加。



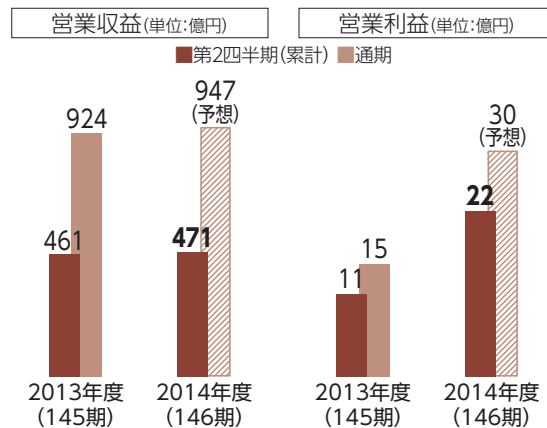
ホテル・ リゾート事業

ホテル業	(株)東急ホテルズ マウナ ラニ リゾート (オペレーション),INC.
ゴルフ業	(株)スリーハンドレッドクラブ

当第2四半期(累計)の業績

営業収益 **471**億円 (前年同期比2.2%増)
営業利益 **22**億円 (前年同期比95.2%増)

- (株)東急ホテルズにおいて、高稼働を維持したに加え、販売単価も増加したことなどにより、営業収益、営業利益ともに前年同期比で増加。



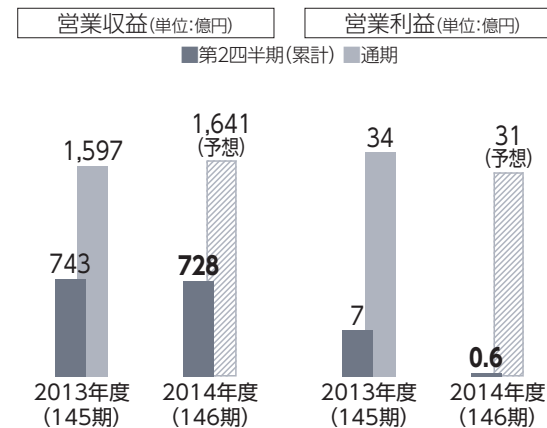
ビジネス サポート事業

広告業	(株)東急エージェンシー
商社業	東急ジオックス(株)
鉄道車両関連事業	東急テクノシステム(株)

当第2四半期(累計)の業績

営業収益 **728**億円 (前年同期比2.0%減)
営業利益 **0.6**億円 (前年同期比91.7%減)

- (株)東急エージェンシーにおける前年度受注したイベントの反動減などにより、営業収益、営業利益ともに前年同期比で減少。



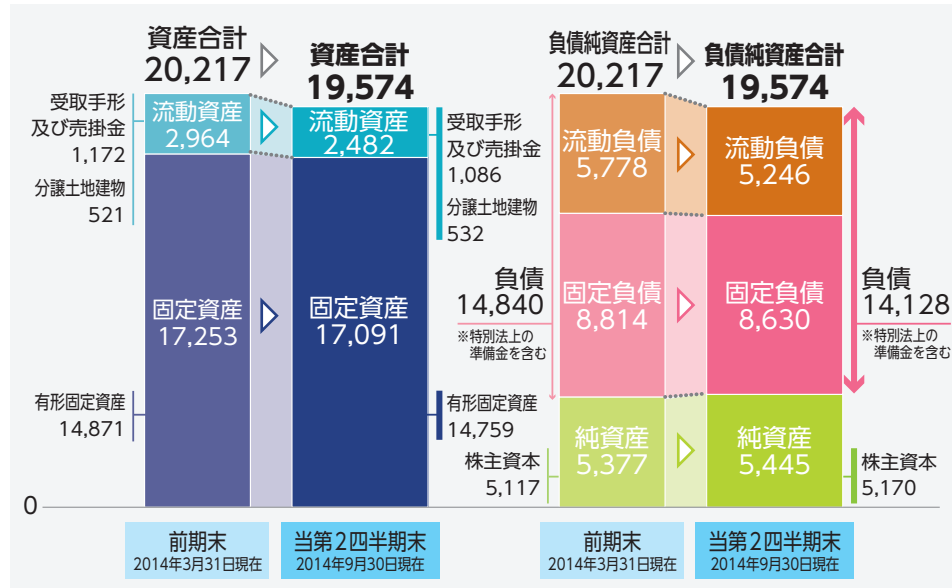
四半期連結財務諸表

(2014年4月1日～2014年9月30日)

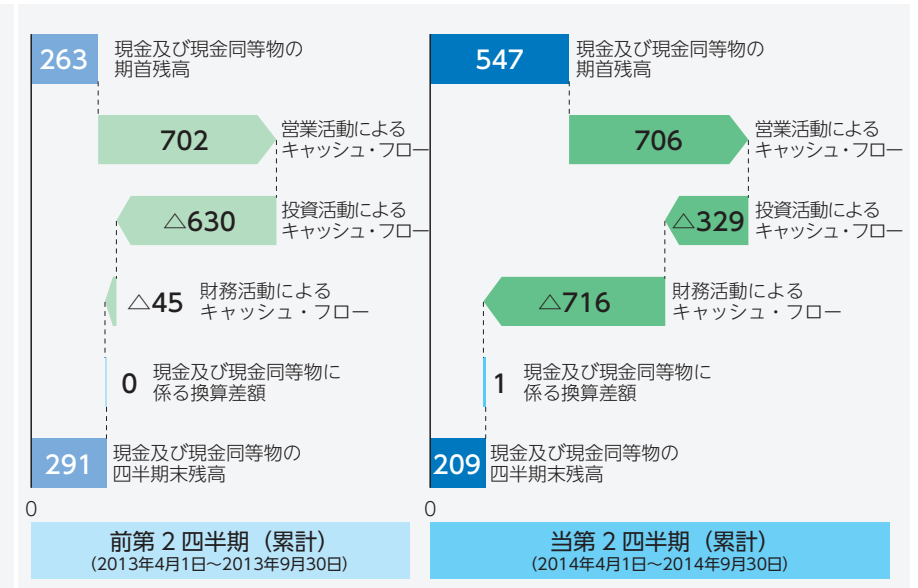
BR
06

→ 会社・株式情報

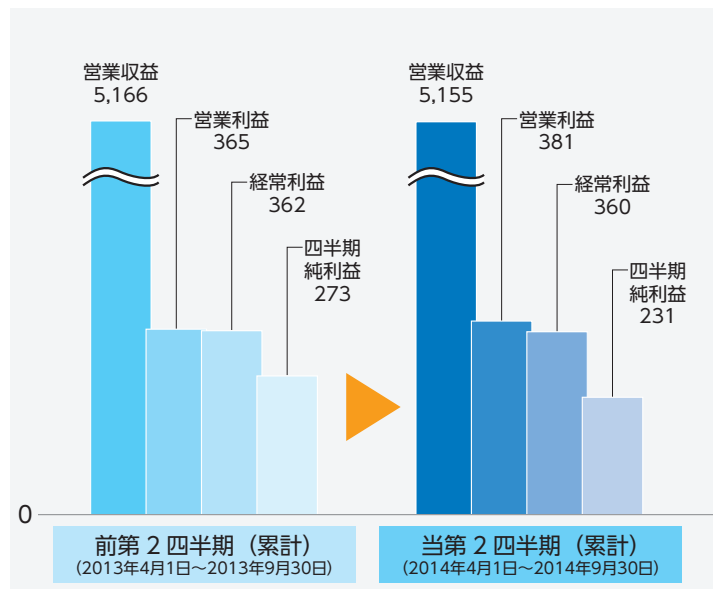
四半期連結貸借対照表の概要 (単位:億円、単位未満切捨)



四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位:億円、単位未満切捨)



四半期連結損益計算書の概要 (単位:億円、単位未満切捨)



四半期連結貸借対照表のポイント

- 総資産は、現金及び預金や、受取手形及び売掛金の減少などにより、1兆9,574億円(前期末比643億円減)。
- 負債は、設備投資に関わる未払金の減少や、有利子負債が9,353億円(前期末比547億円減)となったことなどにより、1兆4,128億円(前期末比712億円減)。
- 純資産は、自己株式の取得及び消却による資本剰余金の減少や、退職給付会計基準等の適用による利益剰余金の減少などがあったものの、四半期純利益の計上などにより、5,445億円(前期末比68億円増)。

四半期連結損益計算書のポイント

- 営業収益は、不動産事業において、前年度の大型集合住宅(マンション)販売の反動減などにより、5,155億円(前年同期比0.2%減)。
- 営業利益は、ホテル・リゾート事業が好調に推移したことなどにより、381億円(前年同期比4.4%増)。
- 経常利益は、負ののれん償却額の計上が前年度に終了したことなどにより、360億円(前年同期比0.8%減)、四半期純利益は、前年度の固定資産売却益の反動減などにより、231億円(前年同期比15.5%減)。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書のポイント

- 営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産の増減額の減少や、前受金の増加などにより、4億円の収入増。
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出の減少などにより、301億円の支出減。
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済を進めたことなどにより、716億円の支出。

会社概要

- 商号 東京急行電鉄株式会社
(英文名) (TOKYU CORPORATION)
- 設立年月日 大正11年(1922年)9月2日
- 本店所在地 東京都渋谷区南平台町5番6号
- 事業内容 鉄軌道事業・不動産事業

役員一覧

- ※ 取締役会長 越 村 敏 昭
- ※ 取締役社長 野 本 弘 文
- ※ 取締役副社長 今 村 俊 夫
- 専務取締役 高 橋 遠
- 桑 原 常 泰
- 巴 政 雄
- 常務取締役 渡 邊 功
- 星 野 俊 幸
- 高 橋 和 夫
- 取 締 役 杉 田 芳 樹
- 大 野 浩 司
- 城 石 文 明
- 木 原 恒 雄
- 濱 名 節 澄
- 根 津 嘉 啓 一
- 小 長 指 潔
- 金 指 潔
- 常 勤 監 査 役 岩 田 哲 夫
- 吉 田 創 衛
- 監 査 役 岡 本 圀 利
- 齋 藤 勝 夫
- 石 原 邦 夫

※は代表権を有する取締役です。

株式の状況

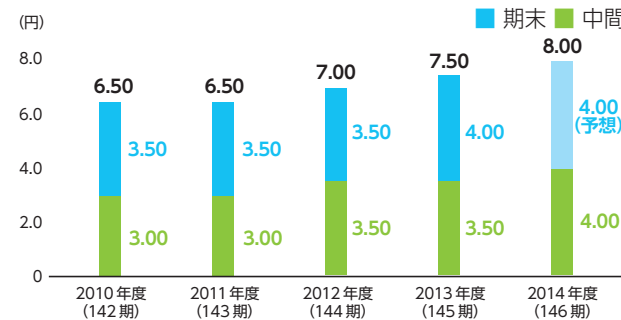
- 資本金 …………… 121,724,981,774 円
- 発行可能株式総数 …………… 18 億株
- 発行済株式の総数 …………… 1,249,739,752 株
- 株主数 …………… 87,268 名

大株主 (上位 10 名)

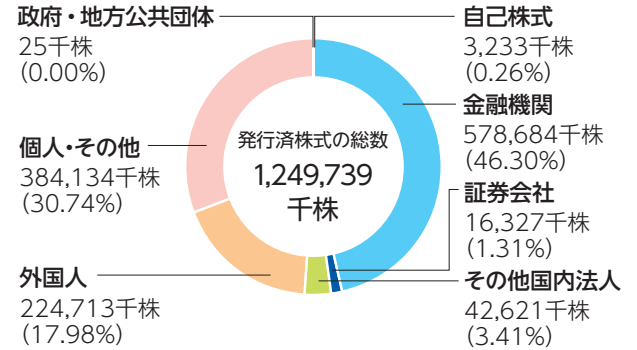
株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
第一生命保険株式会社	77,475	6.20
日本生命保険相互会社	60,318	4.83
三井住友信託銀行株式会社	59,573	4.77
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	44,481	3.56
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	40,785	3.26
株式会社三菱東京UFJ銀行	21,477	1.72
三菱UFJ信託銀行株式会社	21,188	1.70
株式会社みずほ銀行	20,236	1.62
太陽生命保険株式会社	17,133	1.37
野村信託銀行株式会社 (退職給付信託三菱東京UFJ銀行口)	14,270	1.14

※発行済株式の総数(自己株式を含む)に対する割合を表示しております。

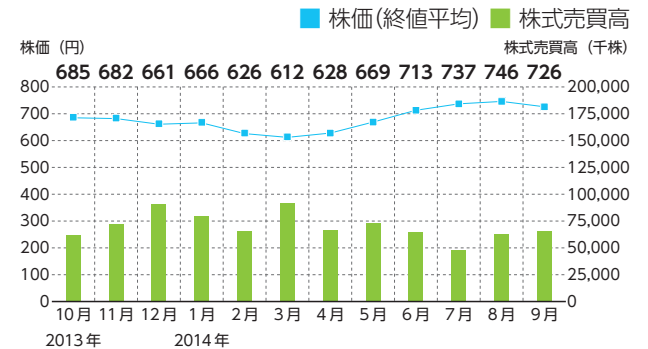
1株当たり配当金の推移



所有者別株式分布



株価と株式売買高の推移



株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年の3月31日まで
- 期末配当金支払基準日 3月31日
- 中間配当金支払基準日 9月30日
- 株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社

連絡先

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話 **0120-782-031**

(フリーダイヤル・平日9:00~17:00)

<http://www.smtb.jp/personal/agency/>

取次事務は三井住友信託銀行株式会社の全国本支店で行っています。

株主さま インフォメーション



Q&A



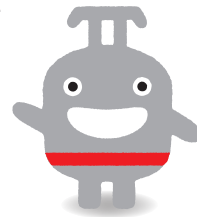
アンケート結果のご報告

本年6月に実施させていただきましたアンケートにつきましては、6,000名を超える株主の皆さまからご回答をいただきました。皆さまのご協力に、心より御礼申し上げます。ここではその一部をご紹介します。

Q 今後の当社株式の保有に関してどうお考えですか？

第1位	長期保有	>>	79.0%
第2位	買い増し	>>	19.6%
第3位	一部売却予定	>>	3.1%

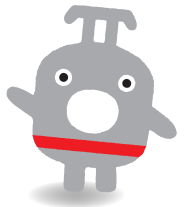
前回アンケートと比較して、「長期保有」とお答えいただいた株主さまの割合が増加し、約8割という結果になりました。今後も当社株式を継続して保有いただけるよう努めてまいります。



Q 「第145期Business Report」で興味を持たれた記事は何ですか？

第1位	事業フォーカス (鉄道)	>>	45.2%
第2位	CLOSE UP! SHIBUYA	>>	36.6%
第3位	事業フォーカス (二子玉川)	>>	29.7%

鉄道事業の安全性向上、利用促進に向けた取り組みの記事が1位となりました。今回のBusiness Reportでも安全の取り組みに関する記事を取り上げておりますので、ご覧ください。

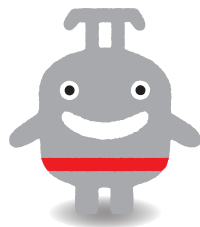


Q 当社の株主優待に関するご意見・ご要望などがございましたらご記入ください。



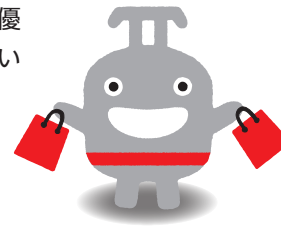
Bunkamuraザ・ミュージアムと五島美術館の招待券が共通化されて良かった。

ご意見ありがとうございます。本年3月末基準の株主さまから、Bunkamuraザ・ミュージアムと五島美術館のどちらでもご利用いただける、共通ご招待券を4枚お配りしております。共通ご招待券への変更はおかげ様で多くの株主さまにご好評いただいております。ぜひお出掛けください。



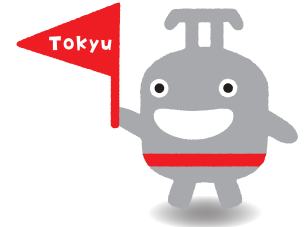
優待内容をもっと充実させてほしい。

ご意見ありがとうございます。株主優待は、株主の皆さまに当社ならびにグループ会社の事業を理解していただきたいという趣旨から、乗車券やグループ会社を含めた施設の優待券、招待券をお配りしており、ご利用のきっかけにもなっております。今後もいただいたご意見を参考にしながら、株主優待制度の内容を検討してまいります。



Business Report以外にも会社の事を知る機会を増やしてほしい。

ご意見ありがとうございます。当社は、個人の投資家さま向けのIR活動として、各証券会社における会社説明会や個人投資家さま向けIRイベントへの出展など幅広く活動しております。次回は2015年3月に有楽町の東京国際フォーラムで開催される「東証IRフェスタ2015」に出展いたしますので、お近くの方はぜひお越しください。





株主優待のご案内

1,000株以上ご所有の株主の皆さまには、ご所有株式数に応じ、東急線全線または東急バス各路線にご乗車いただける**株主優待乗車証**や、東急グループ各施設でお買い物・ご宿泊等にご利用いただける**株主ご優待券**をお送りしております。

株主ご優待券



東急百貨店 ^(注1)	東急ストア ^(注2)	東急ホテルズ	Bunkamura ザ・ミュージアム	五島美術館
お買い物 10%割引券 10枚	お買い物 50円割引券 40枚	客室正規料金 30%割引券 8枚	共通ご招待券 4枚	

(注1) 現金による合計金額3,000円(税別)以上の同一売場でのお買い物1回につき、本体価格の10%(100円未満四捨五入)を割引いたします(ただし、食料品、セール品、その他除外品がございます)。なお、割引券1枚につき50,000円(税別)までのお買い物にご利用いただけます。

(注2) 1回のお買上合計金額1,000円(税込)以上につき、1,000円ごとに各1枚(50円)をご利用いただけます(ただし、商品券、タバコ、その他除外品がございます)。

(注3) 電車・東急バス全線きっぷは、1枚につき、東急線または東急バス片道1乗車に限りご利用いただけます(深夜バスにご乗車の際には割増運賃をお支払いください)。

※東急バスについては、以下の路線はご利用いただけません。

①深夜急行バス(ミッドナイトアロー) ②通勤高速バス(TOKYU E-Liner) (虹が丘営業所→渋谷駅) ③羽田空港直行バス ④成田空港直行バス ⑤溝の口駅～新横浜駅間直行バス ⑥渋谷区コミュニティバス(ハチ公バス) ⑦大田区コミュニティバス(たまちゃんバス) ⑧たまプラーザ駅～東京ディズニーリゾート間直行バス ⑨(株)東急トランセ代官山線 ⑩(株)東急トランセ高速乗合バス(2014年11月現在)

株主優待乗車証

ご所有株式数	1,000株以上 3,000株未満	3,000株以上 5,000株未満	5,000株以上 10,000株未満	10,000株以上 19,000株未満	19,000株以上 24,000株未満	24,000株以上 28,000株未満	28,000株以上 57,000株未満	57,000株以上
株主優待乗車証発行枚数	電車・東急バス全線きっぷ ^(注3)					電車全線バス		電車・東急バス全線バス
	5枚	10枚	20枚	40枚	80枚	1枚	1枚	1枚
	さらに 継続保有 すると	3年以上継続して3,000株以上保有の場合 電車・東急バス全線きっぷ 5枚追加			3年以上継続して10,000株以上保有の場合 電車・東急バス全線きっぷ 10枚追加			
						電車・東急バス全線きっぷ		
						10枚	30枚	30枚

各優待券の発送時期および有効期間

発行基準日	発送時期	内容	有効期限
3月31日	5月中旬	優待乗車証	11月30日まで
	6月上旬	ご優待券	12月31日まで
9月30日	11月中旬	優待乗車証	翌年5月31日まで
	12月上旬	ご優待券	翌年6月30日まで

継続保有の条件について

当社の株主名簿に、同一株主番号で、当該基準日を含む直近7回の基準日(3月31日、9月30日)に継続して記載された株主さまに対し、その7回の基準日に保有していた最小株式数に応じて追加発行いたします。

- 相続、株主名簿からの除籍等により株主番号が変更になった場合は、その直後の基準日から起算いたします。
- 株式交換等により当社株主となった場合は、その直後の基準日から起算いたします。株式交換等以前の時期との通算はいたしません。
- 株主名簿への記載が同一の方であり、何らかの事情により株主番号が変更になっている場合には、お申し出いただき、かつ当社において、その確認がとれる場合に限り、お申し出いただいた日の直前の基準日より同一の株主番号であったものとして取り扱います。
- その他の事項は、当社の定める基準によります。



今後のIRスケジュール (2014年12月時点の予定です。)

2015年2月中旬
●2015年3月期
第3四半期決算発表

2015年3月31日
●株主確定日 (基準日)

2015年5月中旬
●2015年3月期 決算発表
●株主優待乗車証ご送付
※発送日は、決定後に当社IRサイトでご案内いたします。

2015年6月上旬
●第146期 定時株主総会招集ご通知、
株主ご優待券ご送付
※発送日は、決定後に当社IRサイトでご案内いたします。

2015年6月下旬
●第146期 定時株主総会開催
●期末配当金関係書類、
第146期期末 Business Report
ご送付



12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

1,000株
以上の方が
対象です。



1,000株
以上の方が
対象です。

株主優待券

当社の決算情報をはじめ、株主優待の発送日や株式事務のご案内などは、当社IRサイトでも詳しくご案内しております。

<http://www.tokyu.co.jp/ir/investors.html>

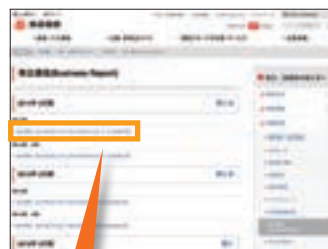
東急 IR 検索



クリック!



クリック!



ビジネスレポートは、
こちらから
ダウンロード
していただけます。

株主・投資家の皆さまへ

当社の適時開示情報や決算情報など、
さまざまな情報を掲載しています。

東急グループお客さま案内窓口 東急お客さまセンター

当社および東急グループに関するお客さまからのお問い合わせやご意見、ご要望をお受けするため、専用の窓口「東急お客さまセンター」を設けております。お客さまから承った声は、経営者をはじめ全社で共有し、当社および東急グループ各社の施設やサービスの改善、業務の見直しに役立てております。

営業時間 月～金 8:00～20:00
土日祝 9:30～17:30
※年末年始などを除きます。

住 所 〒150-8511 東京都渋谷区南平台町5番6号
東京急行電鉄株式会社 東急お客さまセンター
TEL 03-3477-0109 FAX 03-3477-6109
URL <http://www.tokyu.co.jp/>

お問い合わせ 東京急行電鉄株式会社 社長室 総務部
〒150-8511 東京都渋谷区南平台町5番6号
TEL (03) 3477-6228 (月～金 9:30～12:30/13:30～17:00)

UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサル
デザインフォントを採用しています。



環境に配慮した植物油
インキを使用しています。

2014年12月